

豊水っ子だより

《校訓》 ゆたかに かしく たくましく



第5号

令和4年9月22日
豊水小学校

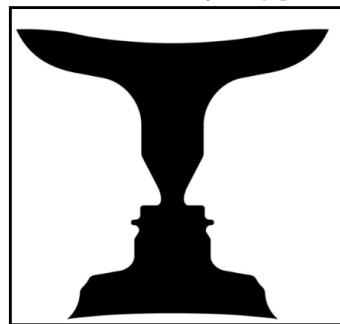
夏休み明け（前期後半スタート）集会での校長の話

8月29日(月)、前期後半のスタートということで、夏休み明けの集会を行いました。私が児童に話したことは以下のようなことです。(以下「校長の話」の概要)



豊水小学校のみなさんに、夏休み明け、前期後半スタートの機会に話したいことは、自分の夢や目標の実現に向けて、まずは自分のものの見方をしっかり鍛えて、それを相手にきちんと伝える力をつけてほしいということです。これからいくつかの絵を見せます。あなたにはどんな風に見えたか、教えてください。

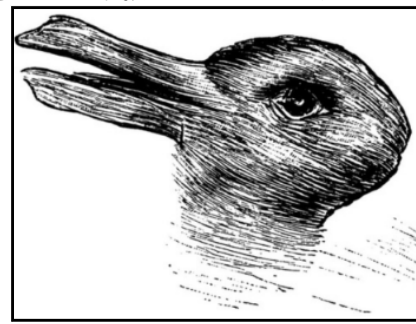
①



②



③



①は、黒い部分は「西洋の壺」に見えて、白い部分は向き合った人の横顔に見える。

②は、「若い女の人の後ろ姿」と「おばあさんの横顔」に見える。

③は、「鳥の頭」と「ウサギの頭」に見える。

(この他にもいくつか見方によって違って見える絵を紹介しました。)

人それぞれ、物事に対する見方(見え方)は違います。また違う角度から見ると、また違う見え方になることもあります。それぞれの見方で、気づき、考えたことをしっかり出し合い、豊水小学校を、みんなの力で前に進めてください。

まだ新型コロナウイルス感染がまだまだ収まらず、これまで以上に対策を徹底して、学校生活を送らなければなりません。またこれから集団宿泊、修学旅行、見学旅行など、様々な行事も予定されています。(陸上記録会と音楽会は中止となりました。)そんな中ですが、みなさん、日々の授業や様々な行事等、めあて・目標をしっかりもって、それに向かってみんなの見方・考え方を活かして、しっかり行動し、みんなで伸びていける、素敵な豊水小にしましょう。

豊水タイム・サイコロトーク



今年度は、業間活動の豊水タイムで、学級や学校全体での集団としてのつながりを深めるための集団づくりの取組を行っています。9月7日(水)にも「サイコロトーク」という出たサイコロの目に合わせて、「好きなテレビ番組」「好きな遊び」「今、食べたいもの」などのテーマで理由を添えてスピーチをしました。自分の考えをしっかりと相手に伝える力がつくよう、今後も取り組んでいきます。



全校音楽・3年生の発表

今年度は、業間活動のひとつに全校音楽を2ヶ月に1回実施しています。全校児童で音楽活動に取り組み、豊かな感性を育てることをねらいとしています。9月9日(金)は、3年生が音楽の授業で学習した「ゆかいな木さん」という曲を歌って演奏してくれました。最初は失敗しましたが、再チャレンジして、最後はみんなで達成感を味わえたい発表でした。



「読み聞かせ（あじさい文庫）」～有志のボランティアに感謝！

9月13日(火)の読み聞かせは、地域学校協働活動推進員の米崎先生と図書室支援員の丸小野先生、そして地域の有志の方々(西本様、美並様)に来ていただき本の読み聞かせをしていただきました。1・2年、3年、4・5年、6年に分かれて、それぞれ読み聞かせをしてもらいました。夏休み明け最初の読み聞かせでしたが、みんな集中してお話を聞いていました。たくさんのボランティアのおかげで子どもたちの感性も豊かになっています。本当にありがとうございます。



学力充実ボランティア



9月13日(火)に、「学力充実タイム」を実施し、学習ボランティアに来ていただき、児童のプリント等の丸つけのお手伝いをしてもらいました。今回も4名のボランティア(野尻様、前田様、西本様、米崎様)に、前半に1・2年生、後半に3～6年生に入ってもらい、ご指導いただきました。子どもたちもやさしく教えてもらって、うれしそうでした。



秋花の種まき

9月21日(水)に秋花の種まきを行いました。地域の花栽培の先生である前田様をはじめボランティア2名(美並様、米崎様)にも来ていただき、教えてもらいながら種をまきました。また上学年が下学年に教え、手伝いながら、ストック、葉ボタン、なでしこ、ビオラ、アリッサムの種をまくことができました。この夏は天候が不順でなかなか例年のように花を育てることができませんでした。気候もよくなり人間も花も過ごしやすくなってきましたので、これから大切に育てて、花いっぱいの豊水小をめざします。



特別支援教育について

※「特別支援教育のトビウ」より
 ※「独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
 発達障がい教育推進センター資料」より

本校にも「たんぽぽ学級」という特別支援学級があります。子ども一人一人の教育的ニーズにこたえるために、最近では多くの学校に特別支援学級が設置されています。今回は、その特別支援教育についてご説明します。

【特別支援教育とは？】

特別支援教育は、「障がいのある子どもの自立と社会参加をするための主体的な取り組みを支援する」という視点に立ち、対象となる子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を確認して伸ばし、学習や生活で抱える困難さを軽減し改善するための適切な指導や支援を行う教育です。

2007年4月から、「特別支援教育」が学校教育法に位置付けられ、従来の特殊教育の対象障がい、知的発達の遅れのない発達障がいも含めて、特別支援学校に限らず、すべての学校において、障がいのある幼児児童生徒の支援をさらに充実していくこととなりました。

【学びの場に関すること】

(1) 特別支援学級と通常の学級の違いは、何ですか？

特別支援学級と通常の学級では、まず学級に在籍する児童生徒の人数が違います。現在、特別支援学級は1クラス8名の定員、通常の学級は1～3年生は35名、4～6年生は40名となっています(地域によっては人数がどちらも少ない学校もあります)。また、通常の学級は、小学校または中学校学習指導要領に則って、教科等の目標や学習内容が決まっています。特別支援学級は、原則として小学校または中学校学習指導要領に準ずることを原則としていますが、障がいのある子どもの特性等を踏まえて「特別な教育課程」を編成することができ、より個に応じた学習内容や活動を行うことができます。特に特別支援学級では、通常の学級ではみられない指導領域として、障がいの改善・克服をめざした「自立活動」を行うことが認められています。

(2) 特別支援学級とは、何ですか？

特別支援学級は、知的障がい、肢体不自由、身体虚弱、弱視、難聴、言語障がい、自閉症・情緒障がい等、それぞれの障がいの状態に応じて設置されています。特別支援学級については、学校教育法の第81条第2項で示されています。小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校においては、教育上特別の支援を必要とする幼児児童生徒に対し、障がいによる学習上又は生活上の困難を克服するための教育を行うことを目的に、特別支援学級は設置できるとされています。しかし、特別な教育課程の編成の規定が制度上ないため、実際は高等学校には特別支援学級は設置されていません。なお、疾病により療養中の子どもに対しては、「院内学級(病院内にある特別支援学級)」が設けられていたり、病院に教員を派遣して教育を行ったりできることになっています。

(3) 特別支援学級に籍をおくと、通常の学級に移籍することはできないのでしょうか？

そのようなことはありません。子どもの障がいによる日常生活の困難等が特別支援学級での指導・支援によって改善され、通常の学級での学習活動に参加できる状態になった場合は、本人、保護者、担任、学校長及び市区町村教育委員会と相談しながら学籍を異動することができます。大切なことは、特別支援学級と通常の学級との学習環境の違いや、子どもの障がいの状態を適切に踏まえた上で判断することです。また、通常の学級においては、子どもの障がいの状態を踏まえた対応が求められますので、教室環境や学習内容・方法等についても一層の配慮が求められることに留意する必要があります。



(4) 特別支援学級に在籍していると、通常の学級で授業を受けることはできないのでしょうか？

そのようなことはありません。現在、「交流及び共同学習」という呼び方で、特別支援学級の児童生徒が、同学年の通常の学級の教科学習や行事活動等を積極的に活動できるよう推進しています。「交流及び共同学習」を進めていく上で大切なことは、子どもの障がいの状態や特性を踏まえた上で、無理のない学習や活動を選択し、細やかな配慮をすることです。また、通常の学級の児童生徒が、同じ仲間として受け入れ、思いやりのある教育活動が図られるようにしていくことも大切です。

特別支援教育の推進によって、障がいのある幼児児童生徒たちは、自身の強い力と弱い力を認識し、強い力の活用によって自己向上力につなげ、弱い力を補うために必要な支援や配慮を得る方法などを学び、自立した社会の構成員として成長していきます。このことは、性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、一人一人が積極的に参加・貢献できる「共生社会」の形成の基礎を担うという意味で、極めて重要なことであるといえます。

PTA奉仕作業～ご協力ありがとうございました！

コロナ禍のため児童の参加を取りやめPTA有志により奉仕作業が、9月4日(日)に行われました。休日の早朝にもかかわらず、たくさんの保護者の方にご協力いただき、草刈り・除草作業ができました。この夏はシルバー人材センターによる草刈りを7月に依頼していたのですが、天候不順や酷暑のため予定通りできなくなり、例年より草が多く茂っていました。夏休み後半に、職員で少しは除草は行っていたのですが、やはり少数の力では限度があります。当日は有志参加だったのですが、たくさんの方々にご協力いただき、おかげで一気に校地内がきれいになりました。また夏休みはじめの7月23日(土)にはPTA資源回収も行われ、たくさんの資源物を集めることができました。たくさんのご協力をいただき、保護者、地域の方々に支えられていることを、あらためて実感し、感謝いたします。



交通安全・みまもりありがとうございます！

秋の全国交通安全運動が9月21日(水)から30日(金)まで実施されています。各種団体の皆様方にも朝の交通指導で大変お世話になっています。ありがとうございます。

10月の行事予定

- | | |
|--|-------------------------------------|
| ○10月1日(土)～2日(日)
：科学展・発明工夫展(小天小にて) | ○10月19日(水)：児童集会 |
| ○10月7日(金)：前期終業式 | ○10月20日(木)：1・2年生見学旅行 |
| ○10月10日(月)：スポーツの日 | ○10月21日(金)：クラブ活動 |
| ○10月11日(火)：後期始業式 | ○10月24日(月)
～25日(火)：6年生修学旅行 |
| ※10月13日(木)に予定されていた
玉名市陸上記録会は中止となりました。 | ○10月28日(金)：市アウトリーチ事業
楽奏団ゆめのねいろ来校 |
| ○10月17日(月)：朝の交通指導、委員会
あいさつ運動、市教委学校訪問 | ○10月31日(月)：6年卒業制作 |
| ○10月18日(火)：あじさい(読み聞かせ)
学力充実ボランティア来校 | ※感染症等の状況によっては、予定が
変更されることもあります。 |

